

平成 29 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	福山市立瀬戸小学校		
学校長氏名	水本 孝義	栄養教諭氏名	杉原 綾
職員数	31名	児童・生徒数	439名

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

- ・学校給食では、残食率は少なく、食べる意欲も高いが、食の大切さやマナーなどについての意識が低いように見受けられる。
- ・朝食アンケートを学期に一回実施しているが、なかなか朝食の内容に変化がみられない。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

- ・「食に関する年間指導計画」に沿って、担任と連携しTTで食に関する授業を行う。
- ・朝食アンケートの調査を定期的に行い、家庭への啓発を図る。
- ・「お弁当の日」（年4回）を計画し、児童が自分の食事作りに取り組めるようにする。
- ・保護者や地域との連携を深めるために、家庭で作れる学校給食レシピや食育だよりを活用し（月1回）、家庭への食文化の向上を図る。
- ・給食時間の指導も充実させる。（毎月の掲示資料や毎日のもぐもぐだよりを活用する。）
- ・学校給食をしっかりと食べる。（目標喫食率99%）

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組1】（テーマ） 給食委員会の取組（残量調査・食事のマナー等）

- ・給食委員会で、残量調査や食器の返し方、コンポストの活動等に取り組む。
- ・11月の残量調査のときに、給食を残さずに食べたクラスや食器をきちんときれいに返したクラスについて賞状を渡すように考え、取り組む。
- ・毎日の給食の残量や食器の返し方について記録をとり掲示することで、給食を残さずに食べようとすることや食器をきれいに返そうとする意欲をもたせる。
- ・全校朝会で、食器の返し方や食事のマナーについても発表し、気を付けることを呼びかける。

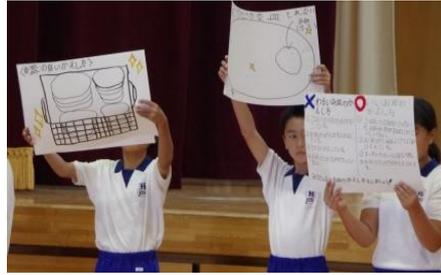
2017年度（平成29年度）平均喫食率（%）

	1学期平均喫食率	2学期平均喫食率
1年	97.1	98.9
2年	98.5	99.6
3年	97.8	98.6
4年	99.0	99.4
5年	99.5	99.5
6年	99.2	99.3
全校平均	98.5	99.2

●残量の記録



●食器の返し方



●食事のマナー（おはしの使い方）



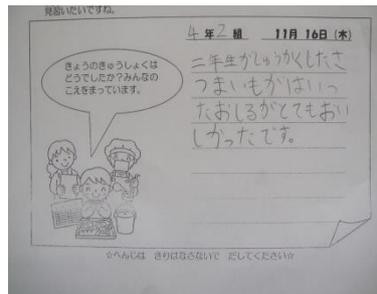
【取組2】（テーマ） 給食時間の充実

- ・毎月の給食目標に沿った「掲示資料」や毎日の給食に関する指導資料「もぐもぐだより」を作成し、各教室で指導をする。
- ・児童が授業の一環で育てた野菜や地場産物の食材を積極的に取り入れ、給食時間に指導をする。
- ・食物アレルギーや個々の体調に気をつけながら、給食を食べられるように配慮し給食指導をする。

●2年生が収穫したさつまいもを給食で使用



●福山市の特産品くわいについて指導



【取組3】（テーマ） 担当校との食育連携

- ・担当校の給食技術員や養護教諭等と連携しながら、アレルギー対応をする。
- ・給食試食会では、給食での様子や地場産物の活用、朝食の大切さについての内容について話をする中で、食への関心をもってもらえるように取り組む。
- ・ミニ保健指導を行い、外食を上手に利用するための工夫や栄養バランスのとれた食事について指導し、食育の連携を図る。

4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

- ・夏休みの子ども料理教室で、ひろしま給食100万食プロジェクトのレシピを取り入れたメニューを考え、子どもたちに紹介し作り方を指導する。
- ・特別支援学級や調理クラブで、ひろしま給食やおやつを作る活動を取り入れる。

●夏休み子ども料理教室（ひろしまトンチキレモン・熱く燃えろ！！Cスープ）



●特別支援学級（広島名物たっぷり塩レモン焼きそば） ●調理クラブ（レモンとはっさくの水切ヨーグルト）



5 取組に対する成果と課題

【成果】

- ・給食の喫食率が全校平均で目標値の99%を上回ることができた。(99.2%)
- ・「もぐもぐだより」の感想欄に、「魚の栄養についてわかったので、残さずに食べた。」「地場産物の食材について知ることができた。」「今日の給食は、郷土料理であることを初めて知った。」などのコメントが多く得られた。

【課題】

- ・朝食アンケートを学期に1回実施しているが、なかなか朝食の内容や欠食率に変化がみられない。
- ・「お弁当の日」を年に4回実施し、児童は「赤黄緑バランスよく入れられたので、よかった。」「おかずを1品以上作れたから、次は腕自慢コースに挑戦したい。」など前向きな感想が多く積極的に取り組んだ様子は見られた。また、保護者も「初めてお弁当を一緒に作りました。楽しみだったみたいで自分で早く起きて作りました。」「だんだん上手になってきたね。」と良い経験ができていく様子ではあるが、難しいコースに挑戦した人の割合に伸び悩むところがあった。

6 今後の取組に向けた改善方策について

- ・給食指導や朝食指導などを実践しながら、「朝食アンケート」と「お弁当の日」の取組みを継続し、食べることや生きる力を身に付けられるように、学校全体で取り組めるように働きかける。
- ・年間指導計画に沿って、食育の指導ができるように取り組む。